

【平成 26 年度・前期学期・ミクロ経済学 II・課題 3】

☆ 平成 26 年 11 月 25 日講義開始時締切

☆

【問】ある企業の生産関数が労働投入量（L）のみに依存しており、

$$q = -0.02L^2 + 1.4L$$

で表されている。

- (1) この企業の一般的な利潤関数を示しなさい。
- (2) この企業の実質利潤関数を示しなさい。
- (3) このような生産関数の下での企業の一般的な利潤最大化の 1 階の条件を示しなさい。
- (4) 今、この企業が労働市場で直面する賃金率が 2、産出物の価格が 5 である場合、この企業の利潤を最大化する、最適労働投入量（雇用量）を求めなさい。
- (5) この企業が直面する労働賃金率が 4 に上がった時、また、1 に下がった時の最適労働投入量（雇用量）を求めなさい。
- (6) この企業の実質利潤と、それを最大化したときの状況を表す図を描きなさい。（数式に従い、必要な数値などを入れて書くこと）
- (7) (4) で求めた一般的な利潤最大化の条件から労働需要関数を求め、それをグラフに表しなさい。